

堺市

文化芸術による被災地支援事業

大阪交響楽団
演奏会

6月8日(土) 14:00開演
(13:00開場)

宮古市民文化会館

入場
無料
(要整理券)



太田 弦 © ai ueda
大阪交響楽団正指揮者



寺崎 巖
いわてフィルハーモニー代表・指揮者



水野 智絵
ソプラノ(堺シティオペラ)



中村 茜
メゾ・ソプラノ(堺シティオペラ)



島影 聖人
テノール(堺シティオペラ)



下川 三和子
バレリーナ(野間バレエ団)

司会・ナレーション 徳島 理香子

第I部

- ▶ スメタナ: 交響詩「我が祖国」より「モルダウ」
いわてフィルハーモニー・オーケストラとの共演 指揮 寺崎 巖
- ▶ ヴェルディ: 歌劇「アイーダ」より
アイーダのアリア「勝つて帰れ」
アイーダとアムネリスの二重唱「お前の国の軍隊は不運だったわね、
可哀想なアイーダ」
バンダ共演 宮古吹奏楽団
- ▶ プッチーニ: 歌劇「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」
- ▶ サン＝サーンス: 歌劇「サムソンとデリラ」より
「私の心はあなたの声に花開く」
- ▶ 久石 譲: NHKドラマ「坂の上の雲」より「Stand Alone」
堺シティオペラ ソプラノ 水野 智絵
メゾ・ソプラノ 中村 茜
テノール 島影 聖人

第II部

- ▶ ムソルグスキー:
組曲「展覧会の絵」より(バレエ付き)
野間バレエ団 下川 三和子
演出・振付 野間 景

入場
無料
要整理券

5月8日(水) 10時より下記の場所へ入場整理券を配布いたします。
(1人2枚まで)
●宮古市民文化会館 ●崎山貝塚縄文の森ミュージアム(以上月曜休館)
●田老・新里・川井 各総合事務所(土曜・日曜閉庁)
●イーストピアみやこ 市民交流センター事務室

堺市「文化芸術による被災地支援事業」とは? この事業は堺市が、東日本大震災の被災地の皆様に心安らく、癒されるとともにクラシックを通じて明日への活力を涵養いただけるようなステージをお届けするものです。昨年に引き続き「大阪交響楽団」「堺シティオペラ」「野間バレエ団」3団体による共演をはじめ、「いわてフィルハーモニー・オーケストラ」との合同演奏をお届けします。ソプラノ、メゾ・ソプラノやテノール、バレリーナによるバレエなど、聞いても、見ても楽しい演奏会をお届けにまいります。

いわてフィルハーモニー・オーケストラ



被災地からの支援要請を受けて2011年6月に結成。岩手県北沿岸の芸術鑑賞事業の初公演以来、楽器支援などのためのチャリティコンサートや文科省復興教育支援事業、文化庁事業などの活動を継続している。岩手県民会館で定期公演を実施。ウィーン・フィルメンバーから指導を受けるなど、実力アップを図ってきた。これまでのソリストは、近藤薫（東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター）、佐藤彦大（ピアノ・モスクワ音楽院）、伊藤奏子（BBCスコティッシュ交響楽団副コンサートミストレス）など。また、ジュニア育成にも積極的に力を注いでいる。

指揮●寺崎 巖

ヴァイオリンを故梅村功二、故板谷英紀、久保良治の各氏に師事。指揮を小林研一郎・水間博明の各氏に師事。いわてフィルハーモニー代表・指揮者。一般社団法人日本弦楽指導者協会副理事長。岩手県管弦楽連盟代表。1995年ドイツ演奏旅行。2003年10月東京芸術劇場にて指揮デビュー。2002年、2005年コンサートキャラバンに随行し、小澤征爾氏、故口ストロボーヴィチ氏から多大な影響を受ける。2006年ドイツ・イタリア演奏旅行では、ヘンデルハウス、フィレンツェの教会などで演奏し、好評を博した。2010年岩手県芸術選奨受賞。2012年岩手県教育表彰（事績顕著者）を受賞。2014年12月に震災後初のリニューアル・オープンとなる宮古市民文化会館の初代芸術監督に就任。

堺シティオペラ



1979年、市制90周年を記念した「市民オペラ」として産声をあげる。「堺から世界へ」を指針として、海外から歌手やスタッフを招聘し、また海外歌劇場との提携公演や共同制作など、オペラ界の歴史に残る音楽文化を内外に発信。2010年より、「堺シティオペラ一般社団法人」として地域の芸術文化の発展に力を注ぎ、常に向上心を持って、観客と共感できる内容の濃い魅力的なオペラ創りを目指している。堺シティオペラ独自の取り組みとして、堺シティオペラ所属の歌手・ピアニストの指導の下、年長児から中学生で毎年1本のオペラを歌い演じる「Kid's Opera Club」がオペラファンの裾野を広げる活動として、大きな成果を上げ、注目されている。また、堺シティオペラアカデミーを開設し、専門性を備えた若手育成や、芸術文化の向上や普及にも力を注いでいる。オペラ公演の成果として、2012年「ちゃんちき」三菱UFJ信託音楽賞奨励賞、2014年「黄金の国」音楽・クリティッククラブ賞、佐川吉男音楽賞、「カルメン」大阪文化祭奨励賞を受賞等、高い評価を得ている。

ソプラノ●水野智絵

「ジャンニ・スキッキ」チェスカ役でデビュー後、「ロメオとジュリエット」「ちゃんちき」「カルメン」「ナクソス島のリアドネ」「ラ・ボエーム」他、重要な役を手中にし、本年度の堺シティオペラ定期公演「アイダ」アイダ役に抜擢され、その躍進ぶりに期待が寄せられている堺市出身のホープ。堺シティオペラアカデミー修了生による Dominant Seventh メンバー。堺シティオペラアーティスト会員。

メゾ・ソプラノ●中村 茜

大阪音楽大学専攻科声楽専攻修了。オペラでは数多くの主要な役を演じ、その多彩な表情で好評を博す。またオーケストラとの共演や、「第九」・ミサ曲等のソリストも務める等の活躍は多岐に渡る。第46回堺市新人演奏会最優秀賞受賞。坂口菜里、坂口尚平、角野芳子の各氏に師事。コスモス混声合唱団特別団員、堺シティオペラアーティスト会員。

テノール●島影聖人

大阪音楽大学声楽学科卒業、同大学音楽専攻科修了。「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」「愛の妙薬」「コジ・ファン・トゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」「ホフマン物語」「こうもり」「ヘンゼルとグレンテル」等に出演。びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。上方オペラ工房メンバー。大阪音楽大学演奏員。

野間バレエ団



1992年創立。以来、全ての定期公演を地元堺市で上演する地域密着のバレエ団。パリ・オペラ座のピエール・ダルドや、中村恵恵など、国内外の著名な振付家を堺市に招聘し、上演した定期公演は大きな評価を受け、08年、09年に文化庁より「芸術祭優秀賞」を2年連続で受賞している。また同賞をプリマの野間景も個人で11年に受賞と栄えある実績を残している。バレエ団を率いる団長野間康子は、バレエ団の前進である野間バレエスクールの創設者でもあり、スクールは今年で創立50周年を迎える。その功績を称えられて12年に橘秋子財団より「橘秋子賞功労賞」を受賞している。

バレリーナ●下川三和子

5歳より野間康子・野間景に師事。野間バレエ団の若手ソリストとして活躍中。2016年「NAMUE 広島コンクール」にて第2位受賞。2017年 堺市文化芸術による被災地支援事業・大阪交響楽団演奏会「くるみ割り人形よりクララのクリスマス」クララ役にて出演。2018年「ヴィクトワール神戸コンクール」にて第4位・優秀賞受賞。野間バレエ団プレゼンツ「バレエを楽しもうin堺2018」にて主役クララを演じる。ザ・シンフォニーホール「親子で楽しくクラシック」にゲスト出演し、ナポリを踊り好評を得る。

大阪交響楽団

1980年創立。永久名誉楽団代表・数島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！」を提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」として評されている。2000年本拠地を大阪府堺市に移転。政令指定都市・堺の新たな文化の顔としての活躍が目ざされている。同年、堺市長が運営特別顧問に就任。2010年4月に楽団名を「大阪交響楽団」と改称。2018年11月に公益社団法人となった。2015年4月には二宮光由が楽団長・インテンダントに就任。さらに2016年4月からは、日本楽壇最長老の外山雄三がミュージック・アドバイザーに就任。2019年4月からは新たに太田弦（2015年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で第2位ならびに聴衆賞を受賞）が正指揮者に就任し、さらなる楽団の飛躍が期待されている。楽団公式ホームページ（<http://sym.jp>）（2019年4月現在）

指揮●太田 弦

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。2015年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高間健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講する。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月より大阪交響楽団正指揮者に就任。

司会・ナレーション●徳島理香子

大阪教育大学芸術専攻卒業。同大学院修了。玉井裕子、井上敏典の各氏に声楽を師事。「にじいろの詩歌」の会を主宰し、演奏、司会、朗読等、活動の場を広げる。一般社団法人 社会と災害文化研究所理事。神戸音楽家協会会員。